

国土技術開発賞



情報・企画部
技術参事役

田邊 輝行

1 はじめに

「国土技術開発賞」は、建設分野における研究開発意欲の高揚と建設技術水準の向上を図ることを目的として、建設分野における優れた新技術を国土交通大臣が表彰している。最優秀賞（国土交通大臣賞）、優秀賞（同）に選ばれた技術は「ものづくり日本大賞」の内閣総理大臣賞の候補として国土交通省が設置する選考有識者会議へ推薦される。

また、中小建設業者、専門工事業者等の創意工夫やアイデアにあふれる技術を特別賞「創意開発技術賞（国土交通大臣賞）」として表彰している。

2 第24回国土技術開発賞の概要

2.1 応募技術の対象

住宅・社会資本整備もしくは国土管理に係わる、調査・計測手法、計画・設計手法、施工技術、施工システム、維持管理手法（点検・診断技術、モニタリング技術を含む）、材料・製品、機械・設備、電気・通信、伝統技術の応用などの広範に亘る技術で、概ね近年5年以内に技術開発された新技術で、かつ既に実用に供された新技術が、応募技術の対象である。

2.2 応募資格等

(1) 応募者

応募者は、応募技術の開発を直接かつ中心となって実施し、かつ開発された技術に対して責任をとれる者（個人*¹、民間法人、行政機関等）としている。応募者が複数となる場合は、原則2名までとしている。

(2) 技術開発者

技術開発者は、応募技術の開発に、特に技術的に重要な役割を担った担当者としている。

技術開発者は、応募技術の開発に直接かつ中心となって携わった者の内、“特に技術的に重要な役割”を担った担当者として

し、技術開発者が複数になる場合は、1団体2名まで、かつ1応募技術あたり原則3名までとしている。

(3) 共同開発者

共同開発者は、応募技術の開発に関し、応募者とはならないまでも、技術的に重要な役割を持って参画を行った者（個人*¹、民間法人、行政機関等）としている。

*¹「個人」とは大学等*²の学識経験者等を指す

*²「大学等」とは、大学、大学院、工業高等専門学校を指す

2.3 募集期間

令和3年10月13日（水）～令和4年1月13日（木）

2.4 応募技術の状況

第24回国土技術開発賞は37件の応募があり、第22回から続けて40件程度の応募をいただいている。これは、後援、協賛をはじめ関係団体と共に取り組んできた様々な広報活動の成果が現れてきたものと考えている。

適用分野別では、例年と同様に道路分野、河川分野が1位、2位を占め、それに港湾分野、建築分野が続いている。技術区分別では、今回も施工技術の応募が最も多かったが、維持管理、材料・製品、機械・設備、ソフトウェアなど、多様な区分からの応募があった。

2.5 選考方法

第24回国土技術開発賞選考委員会により、厳正かつ公正に選考された。選考委員会のメンバーは以下の通りである。

委員長 池淵周一 京都大学 名誉教授

委員 三木千壽 東京都市大学 学長

// 和田 章 東京工業大学 名誉教授

// 吉岡幹夫 国土交通省 技監

// 加藤雅啓 国土交通省大臣官房技術総括審議官

// 廣瀬昌由 国土交通省大臣官房技術審議官

// 木村嘉富 国土交通省国土技術政策総合研究所長

// 飛田幹男 国土交通省国土地理院長

// 藤田光一 国立研究開発法人土木研究所理事長

- // 澤地孝男 国立研究開発法人建築研究所理事長
- // 高野誠紀 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所所長
- // 甲村謙友 (一財) 国土技術研究センター理事長
- // 宮崎祥一 (一財) 沿岸技術研究センター理事長

2.6 選考結果

表1に示す8件の技術が選考され、第24回の受賞技術概要等は <https://www.jice.or.jp/> に掲載している。

また、雑誌「建設マネジメント技術(一財)経済調査会」へ受賞技術の詳細の掲載と同電子情報のJICE HPへのアップを、例年通り同誌発行の令和4年12月号から連載で予定している。

表1 第24回国土技術開発賞 受賞技術一覧

	受賞技術名称	受賞者
最優秀賞【1件】	遮水性盛土の総合的な品質管理法	(独)水資源機構 鹿島建設(株)
優秀賞【2件】	防水層にUFCを用いたプレキャストPC床版	東日本高速道路(株) (株)大林組
	人工知能を用いた栈橋の残存耐力評価技術	五洋建設(株)
入賞【4件】	実発電と実負荷状況に応じた発電共通制御システム	(株)日本設計 東芝インフラシステムズ(株)
	6m継ぎボルト打設装置を搭載したロックボルト専用機	大成建設(株)
	水防活動支援情報共有システム	国土交通省国土技術政策総合研究所
	地すべり災害対応のBIM/CIMモデル	(国研)土木研究所
創意開発技術賞【1件】	自走式床版搬送据付装置	丸栄コンクリート工業(株)

(応募の受付順による)

2.7 第24回国土技術開発賞 表彰式

第24回国土技術開発賞の表彰式は、令和4年8月3日に東京国際フォーラムにおいて、新型コロナウイルスの渦中のなか、できる限りの対策と開催規模を縮小して、斉藤鉄夫国土交通大臣のご臨席を賜り、厳粛かつ終始和やかな雰囲気で行われた。(写真1)



写真1 来賓挨拶 (斉藤鉄夫 国土交通大臣)

最優秀賞、優秀賞及び創意開発技術賞については斉藤鉄夫国土交通大臣より表彰状と副賞が(写真2)、入賞については池淵周一選考委員会委員長より表彰状と副賞が、それぞれ授与された。



写真2 最優秀賞表彰 (斉藤鉄夫国土交通大臣)

2.8 第24回国土技術開発賞 受賞技術紹介

<第24回最優秀賞>

(技術名) 遮水性盛土の総合的な品質管理法

(副題) 最新の技術知見とICTを融合した新たな品質管理

(受賞者) (独)水資源機構/鹿島建設(株)

(受賞概要) 本技術は遮水性盛土において、締固めエネルギーの増加と飽和度を考慮して締固めの管理基準を改善するとともに、振動ローラの加速度応答法から得られる地盤剛性指標により、遮水性盛土を面的に全量管理する技術を開発したものである。

遮水性盛土の品質確保と施工効率の向上に優れた新技術である。

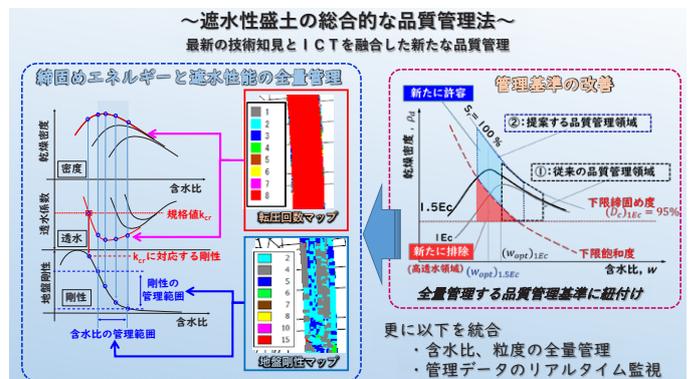


図1 遮水性盛土の総合的な品質管理法 技術概要図

3 おわりに

住宅・社会資本に係わる各分野の新技術は新たな国土の創造を下支えするものであり、今後とも積極的な技術開発の推進は不可欠である。今回受賞した技術は、国土に働きかけて国土から恵みを受け取るために、そして次世代へ力強く美しい国土を残すために、幅広く社会に活用されるものと確信している。

JICEとしては、優れた新技術の活用促進等に向けた情報提供を行って、建設産業における技術開発の重要性を広く国民にご理解いただく努力を、引き続き行ってまいりたいと考えている。